

## MISSION STATEMENT 使命

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。  
また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

## HISTORY 歴史

東北大学は、1907年(明治40年)に、東京帝国大学、京都帝国大学に続く3番目の帝国大学として創立。設立当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、さらに1913年(大正2年)には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。  
東北帝国大学は、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。  
さらに、東北大学は戦前からいち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。  
このような精神は、第二次世界大戦、戦後の成長期を経て、グローバル化が進行する現代にも生き生きと息づいている。

## CONTENTS 目次

1	MISSION STATEMENT [使命]	〈環境・組織・運営〉
	HISTORY [歴史]	
3	世界リーディング・ユニバーシティに向けて 2007年4月~2008年8月のレポート 井上プラン2007(2008年度改訂版)	15   ディスティンクイッシュトプロフェッサー制度 17   世界をリードする研究を育む環境とシステム 〈教育成果〉 21   革新を続ける教育プログラム 23   多彩な才能が花開くキャンパスライフ 〈産学連携〉 25   産学連携で知的資源を世界に発信 〈国際交流〉 27   さらに広がり充実する国際交流 〈社会貢献・男女共同参画〉 29   社会貢献・男女共同参画への取り組み 〈百周年記念・新キャンパス〉 31   東北大学100周年記念事業 33   新キャンパス整備計画
5	画像メディアの可能性拡大	35   部局等の主な成果(2007年度)
6	社会階層と不平等の問題	37   データで見る東北大学の概要 東北大学の位置
7	古代インドの文献から	38   連絡先
8	水素発生新アルミ合金を開発	
9	植物の運動に迫る	
10	スピエレレクトロニクスの最前線	
11	量子情報通信技術の未来を拓く	
12	効率的産肉機構の解明	
13	2007年度の主な受賞・受章(2007年4月~2008年8月)	

本冊子は、2007年4月から2008年8月までの東北大学全体の活動内容です。